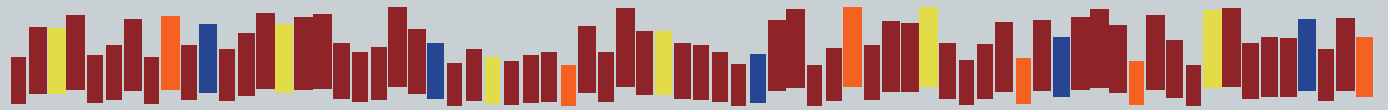


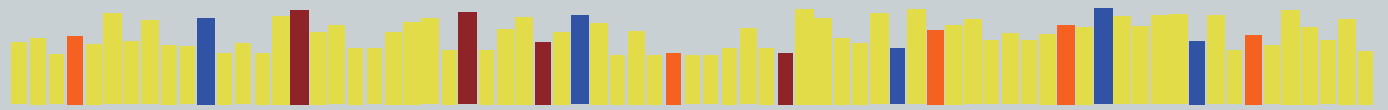
ストリートパフォーマンスの今後を考える

ストリートアーティスト・アカデミー レクチャー



2年後に控える東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会。世界中から多数の人々が訪れる東京で、ストリートパフォーマンスはどのような役割を果たせるのでしょうか。そして、東京オリンピック・パラリンピック以降、ストリートパフォーマンスは、どう進んでいくべきなのでしょうか。

そのような問いについて、ストリートアーティストを生み出すこと、レベルアップを支援することを目的に実施してきた「ストリートアーティスト・アカデミー」監修者であり、大道芸フェスティバルプロデューサーの橋本隆雄氏を講師としてお迎えし、参加者の皆様方と考える場を設けます。また、海外のストリートパフォーマンスの現状についても触れながら、文化行政を支える方々を聞き手とし、多様な視点で考えていくレクチャーを行います。



Vol.1 2018.11/20(火) @アンスティチュ・フランセ東京 エスパイマージュ 19:00開講(18:30開場)

「海外ストリートパフォーマンス事情」

— ヨーロッパにおけるコンテンポラリー・サーカスの潮流やネットワーク、教育プログラムの現状について —

講 師： アガタ・デュモン(コンテンポラリーサーカス研究者)
 ジョアン・スワルトヴァゲール(アーティスト)
 司 会： 乗越たかお(作家・ヤサぐれ 舞踊評論家)

Vol.2 2018.12/13(木) @東京芸術劇場 シンフォニースペース 19:00開講(18:30開場)

大道芸の歴史・変遷をたどる

「大道芸から現在のストリートパフォーマンスまで」

— 日本の大道芸の歴史や、コミュニティとどのようにかかわって受け継がれてきたのか。その変遷をたどり、未来を考えます —

講 師： 橋本隆雄(大道芸フェスティバルプロデューサー / 「ストリートアーティスト・アカデミー」監修)
 聞き手： サンキュー手塚(ストリートアーティスト / 「ストリートアーティスト・アカデミー」講師)

Vol.3 2019.1/19(土) @東京芸術劇場 シンフォニースペース 14:00開講(13:30開場)

「2020年に向けて—東京におけるストリートパフォーマンスのあり方」

講 師： 橋本隆雄(大道芸フェスティバルプロデューサー / 「ストリートアーティスト・アカデミー」監修)
 聞き手： 高萩宏(東京芸術劇場 副館長)
 司 会： 乗越たかお(作家・ヤサぐれ 舞踊評論家)


Vol.4 2019.2/12(火) @東京芸術劇場 ギャラリー 2 19:00開講(18:30開場)

「2020年オリンピック以降のストリートパフォーマンスのあり方について」

講 師： 橋本隆雄(大道芸フェスティバルプロデューサー / 「ストリートアーティスト・アカデミー」監修)
 聞き手： 三好勝則(アーツカウンシル東京 機構長)
 司 会： 乗越たかお(作家・ヤサぐれ 舞踊評論家)

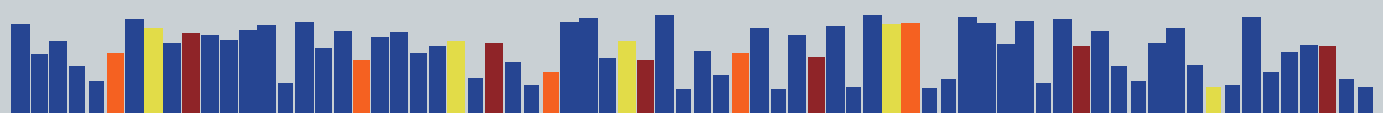
*内容等、やむを得ない事情により変更になる場合がございますことをあらかじめご了承ください。

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、豊島区、東京都/アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：  文 平 成 30 年 度 文 化 庁 国 際 文 化 芸 術 発 信 拠 点 形 成 事 業

Vol.1のみ 共催：アンスティチュ・フランセ東京

企画協力：l'Usine - Centre national des arts de la rue et de l'espace public (Tournefeuille / Toulouse Métropole)



プロフィール

アガタ・デュモン (11/20)

インディペンデントの教員／研究者。サーカス芸術およびダンスの分野の研究を行っている。

舞台芸術の博士号を取得。アンジェ国立現代舞踊センターや、シャロン・アン・シャンパーニュ国立サーカスセンター(CNAC)や大学等で定期的に教鞭を執る。研究者やアーティストとして、ヨーロッパサーカス学校連盟(FEDEC)、CircusNext、フランス国立ダンスセンター等の様々なプロジェクトに携わる。2016年、クレティユ・ヴァルドゥマルヌ国立振付センターとの共同で、『Käfig, 20 ans de danse』(Somogy社)を刊行。FEDECと共同で、サーカス芸術についての教科書を複数出版。オペラや演劇のカタログや、科学系の雑誌や一般誌などに定期的に寄稿している。現在、即興をめぐるプロジェクトで、振付家マリアン・ファキールとともにブリュッセルのL'L(舞台芸術実験研究所)にてレジデンスを行っている。

ジョアン・スワルトヴァーゲル (11/20)

フランス人アーティスト、サーカス・パフォーマー、ダンサー。

サーカス作品の演出を数多く行う(デフラクト・カンパニー[Flaque]、Veiculo Longoカンパニー[F+M=8]、Albatrosカンパニー[Louche pas louche]、等)。他のダンサー、サーカス・パフォーマーや、映像作家、写真家、音楽家とのコラボレーションも精力的に行う。身体やオブジェ、イメージや公共空間の関係性を探究する分野横断型のアーティスト・コレクティブを多数設立。2006年には国際的なアートラボFAAAC(「オルタナティブな学習」の意の名のネットワーク)を設立した。その他、サーカス作品の演出も数多く行う、現代サーカスの第一人者的存在である。

橋本 隆雄 (12/13、1/19、2/12)

音楽・演劇の企画制作プロデューサーを経て、大道芸フェスティバルプロデューサーの第一人者として、野毛大道芸、ひたち国際大道芸、三茶DE大道芸など数多くのフェスティバルに関わる。2002年より東京都オープンアーティスト計画審査員、愛知万博東京都プロデューサー、日本テレビART DAIDOUGEI審査員などに携わり、現在も国内外の大道芸フェスティバルを年間約20以上手掛け、世界を渡り歩く。2003年、東京都文化功労者受賞、2014年、芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。

サンキュー手塚 (12/13)

早稲田大学在学中に、ハッピー吉沢の主宰する「パントマイム舞☆夢☆踏(まいむとう)」に入団、パントマイムを学ぶ。既成のパントマイムの枠を超えた斬新な発想で、都内歩行者天国や各地の大道芸フェスティバルにて活躍中。現在では、日本だけでなく世界にもその活躍の場を広げている。1999年には「大道芸ワールドカップin静岡'99」のワールドカップ優勝。

高萩宏 (1/19)

1953年東京都生まれ。東京大学文学部卒業。コロンビア大学大学院アーツ・アドミニストレーション学科中退。大学時代、劇団夢の遊眠社創立に参加。退団後、英国でのジャパン・フェスティバル1991をはじめ、東京演劇フェア、東京国際芸術祭などの運営に携わる。パナソニック・グローブ座支配人、世田谷パブリックシアター制作部長を経て、現職。多摩美術大学客員教授。

三好勝則 (2/12)

東京大学法学部卒業。自治省(現在の総務省)に入省。国及び地方自治体において、行財政や地域政策・安心安全対策に関わる制度の立案、執行に携わる。この間に、東京都生活文化局文化振興部長、香川大学大学院地域マネジメント研究科教授を歴任し、「文化を基調とした地域再生に関する研究会」委員、「劇場・音楽堂等の制度的な在り方に関する検討会」委員などを務める。2012年、アーツカウンシル東京が設立されたことに伴い機構長に就任する。

乗越たかお(NORIKOSHI TAKAO) (11/20、1/19、2/12)

作家・ヤサクレ舞踊評論家。株式会社ジャパン・ダンス・プラグ代表。06年にNYジャパン・ソサエティの招聘で滞米研究。07年イタリア『ジャポネ・ダンス』の日本側ディレクター。現在は国内外の劇場・財団・フェスティバルのアドバイザー、審査員など活躍の場は広い。著書は『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイドHYPER』(作品社)、『どうせダンスなんか観ないんだろ!?』(NTT出版)、『ダンス・バイブル』(河出書房新社)など多数。現在、月刊誌「ぶらあぼ」でコラム「誰も踊ってはならぬ」を好評連載中。

参加料

Vol.1 (11/20):1,000円(税込) 先着順(学生・アンスティチュ会員無料)

Vol.2～Vol.4 (12/13、1/19、2/12):500円(税込) 先着順

※参加日当日にお支払いください

申込み方法

件名を「●● SAA シンポジウム参加希望」(●●は参加希望の月日を入れてください)として、本文に下記①～④をご記入の上、saa@geigeki.jpまでご送信ください。

①氏名(ふりがな)②ご所属(会社名、学校名等、Vol.1のみアンスティチュ・フランセ東京会員の方はその旨記載をお願いいたします)③メールアドレス④電話番号

※お申込の際にご提出いただく個人情報は、本レクチャー以外の目的には使用いたしません。

※受信制限をされている方は、当メールアドレスからのメールを受信できるよう設定をお願いします。

お問合せ

東京芸術劇場 事業企画課 事業調整係 03-5391-2116

